

ベストフードを
スマホで選ぼう



失敗しにくい
フレークタイプ



ゴールドプロス
ゴールドプロス ベジ

楽チンを追求
多機能粒タイプ



5つの力
増体・胚芽
基本食・野菜・色揚げ

発売から50年以上
伝統の粒タイプ



アイドル
ベビーゴールド
ミニペッペト胚芽

ワンランク上
美しく育つ粒タイプ



プロリア
プロリア 色揚

株式会社
キヨーリン

ISO22000
認証取得
(福崎・加西
・九州工場)



〒670-0902 姫路市白銀町9番地 Tel.079(289)3739
ホームページアドレス: www.kyorin-net.co.jp/

国産 日本国内
自社生産
開発から製造まで
国内一貫製造で、
安心安全な商品を
お届けします。

2022年7月発行

4 エサを与えてみよう

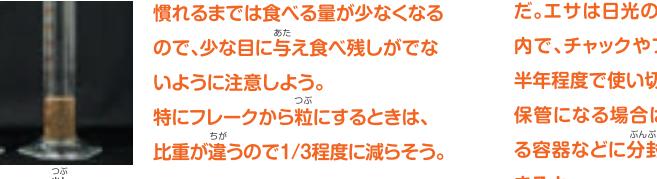
夏はたくさん食べて冬はほとんど食べないので、適性量のエサを与えるのは難しいんだ。
『5分以内に食べきる量』『食べきるまで観察』『食べ残したエサは取り除く』が上手に与えるコツだよ。

●和金1匹に与える1日分の目安量 (水温20度以上の場合)

和金の大きさ	フレーク		粒	
	2~3cm	0.3杯	25粒	7粒
3~5cm	0.5杯	40粒	12粒	

●エサを変えたときの与え方

【重さ35gのかさ比較】



慣れるまでは食べる量が少なくなるので、少な目に与え食べ残しがでないように注意しよう。
特にフレークから粒にするときは、比重が違うので1/3程度に減らそう。

●季節による目安量 (屋外や玄関など外気温に近い場合)

4月中旬～5月	6月～10月
極少量 → 少量 2~3日に1回極少量から、1日1~2回少量へ少しずつ増やそう。	普通 1日2~3回しっかりと与えよう。水質悪化に注意!
11月 少量 → 極少量 徐々に餌の量と回数を減らしていこう。食べ残しに注意!	12月～4月初旬 エサどめ 全く与えないか、数週間に1回極少量を与えよう。

※観賞魚用ヒーターを使用する場合は、年間通じて餌の量は一定になります。

●エサの保管方法について

エサは酸素・水分・光により劣化したり、エサを食べる虫の侵入の危険もあるんだ。エサは日光の当たらぬ清潔な室内で、チャックやフタを閉めて保管し、半年程度で使い切るようにしよう。長期保管になる場合は、開封時に密封できる容器などに分封すると劣化を防ぐことができるよ。

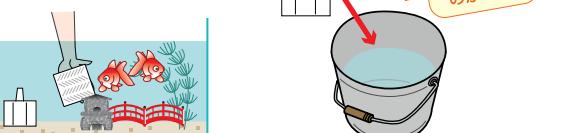
5 水替えをしてみよう

水は少しずつ悪くなっているんだ。理想は毎日1/10程度の水替えだけど大変なので、1か月に1回、飼育匹数が多い場合や夏場は1～2週間に1回水替えをして『キレイな水』を維持しよう。

①器具のコンセントを抜く



②コケそうじ



水槽のコケをとろう。金魚はそのままでもいいよ。

③底のゴミを吸いだす



水替えホースで砂利の中のゴミを1/3～1/2程度の水と一緒に吸いだそう。

※バクテリアはろ材や砂利の中に、約1か月かけて自然に殖えて効果がでるんだ。新しいろ材や砂利のときは、エサを少なくしてマメに水を替えよう。

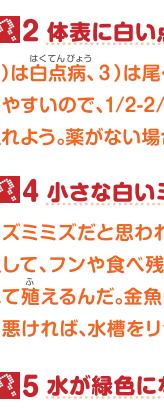
④ろ材のそじ



キレイにしすぎないのがコツ

ろ材にはバクテリアが住んでいるので、吸いだした水でろ材を軽く洗おう。

⑤新しい水を注ぐ



植物プランクトンが大量発生していると思われるよ。太陽光を遮りエサを減らせば少なくなるよ。

⑥数日間の留守の仕方

金魚は絶食には強いけど、水質悪化と高水温には弱いんだ。健康な金魚は1週間程度食べなくとも元気なので、数日前に水替えをして、当日はエサを与えず出かけてしましょう。

水温が30℃を超える場合は、涼しい場所に水槽を移動してね。

みんなの
人気者

金
魚

を飼おう

さかにいき
魚飼育のコツがわかるよ！
『魚飼育の基本』を先に読んでね。

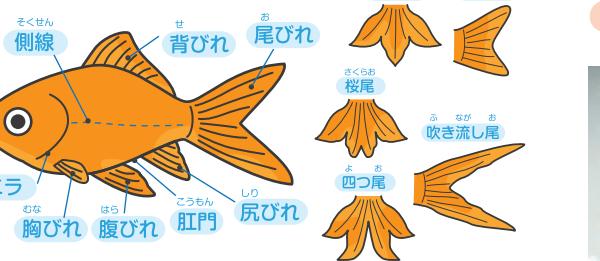
ご自由にお持ち帰り下さい

1 金魚のことをよく知ろう

金魚はとても飼いやすく、人によくなれるんだ。金魚飼育の歴史は古く、室町時代に中国から伝来し、江戸中期に愛玩動物として広まつたんだよ。

●寿命：10～15年 ●大きさ：約20cm
(ちいさな水槽だと大きくならないよ)

体の名前と尾びれの種類



なぜ赤くなるの？

藻やエビなどに含まれるカロチノイド色素を食べることで、きれいな赤色になるんだ。この色素を配合した「5つの力 色あげ」で赤く美しい金魚に育てよう。



人気の金魚たちを紹介するよ。

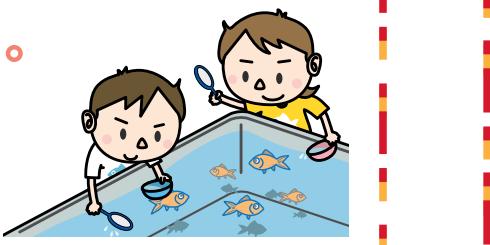


2 塩水浴をしよう

7日間0.5%の塩水で旅の疲れを癒そう。

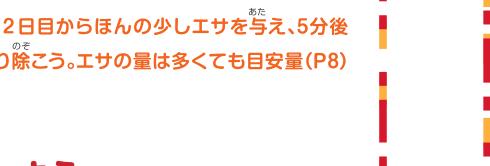
1 容器を用意しよう

せんめんき 洗面器(約4ℓ)やバケツ(約10ℓ)を用意しよう。約3cmの金魚の場合、洗面器は2匹まで、バケツは3匹までが目安だよ。



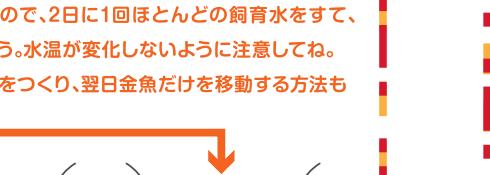
2 0.5%の塩水を作ろう

水1ℓに対して小さじ1杯(約5g)の天然塩を入れ、水道水のカルキぬき&金魚の粘膜を保護するプロテクトXを入れよう。



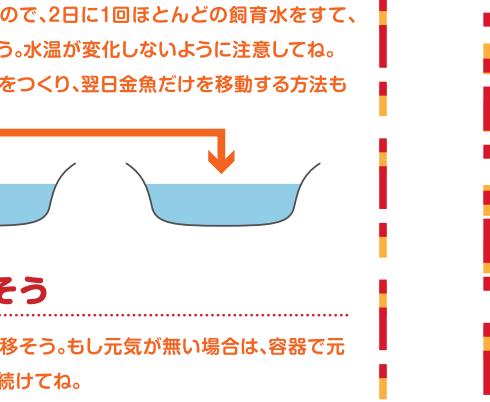
3 水温あわせ

金魚は水温変化が苦手だから、袋のまま20～30分容器に浮かべて、袋の中と容器の水温が同じになるまで待とう。



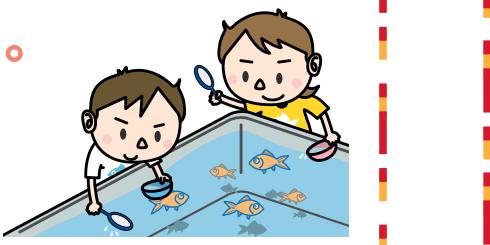
4 金魚を入れよう

袋の水を半分すてて、容器の水と同じ量袋に入れ10分位待つ。もう一度くり返してから、金魚だけを容器に移そう。金魚が飛びださないようにネットをしてね。



5 エサをあげよう

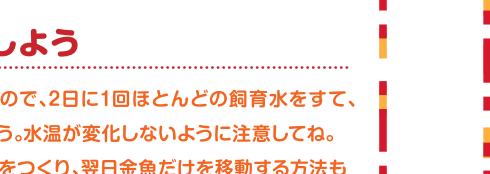
1日目はエサを与えず、2日目からほんの少しえさを与え、5分後に残っているエサは取り除こう。エサの量は多くても目安量(P8)の半分程度だよ。



6 水を交換しよう

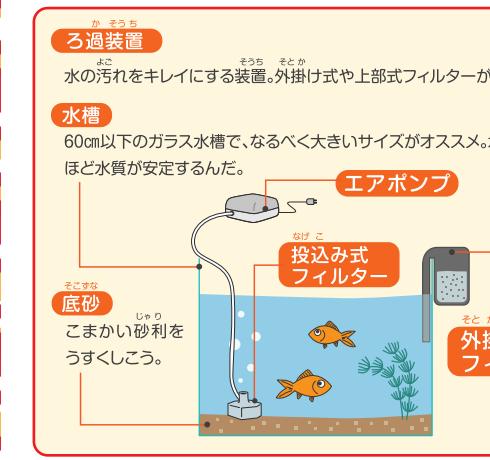
水は少しづつ悪くなるので、2日に1回ほんどの飼育水をすて、新しい塩水に交換しよう。水温が変化しないように注意してね。

※前日別の容器に塩水をつくり、翌日金魚だけを移動する方法もあるよ。



7 水槽に移そう

7日後、金魚を水槽に移そう。もし元気が無い場合は、容器で元気になるまで塩水浴を続けてね。



※始めは1・2匹で飼育し、2・3週間後に金魚を追加すると白ニゴリににくいよ。

※冬季 暖房したリビングで飼育する場合、水温変化で体調を崩さないように観賞魚用ヒーターを設置しよう。

金魚(3～5cm)の飼育目安匹数

30～40cm水槽(12～25ℓ)	3～5 匹
45cm水槽(35ℓ)	6～7 匹
60cm水槽(60ℓ)	8～12 匹

※成長するので、水槽が広いなと感じるぐらいで始めよう。

3 水槽で飼育しよう

キレイな水が長生きのコツ

水は尿や糞、食べ残しから『毒性の強い物質』が発生して、少しづつ『危険な水』へ変わっていくんだ。そこで『生物分解・化学吸着・水替え』をして『キレイな水』を維持しよう。



●毒性のある物質は透明だから、「透明な水」=「キレイな水」ではないよ。

●水質が悪いときにエサを与えると、水が白く濁ったり、金魚が死んでしまうことがあるんだ。

エサを与えたときに、食べる勢いが弱いなど感じたら、水が悪いサインだよ。1/2～2/3程度水替えをして、2・3日エサをストップしてみよう。